



## 平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年7月30日

上場取引所 東

上場会社名 東洋テック株式会社

コード番号 9686 URL <http://www.tovo-tec.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田中 卓

問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員管理本部長 (氏名) 仁田 吉彦

TEL 06-6563-2111

四半期報告書提出予定日 平成25年8月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	4,620	3.0	156	321.6	220	114.8	120	4.3
25年3月期第1四半期	4,487	0.4	37	△24.0	102	△10.0	115	60.0

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 111百万円 (209.1%) 25年3月期第1四半期 36百万円 (△63.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	11.50	—
25年3月期第1四半期	11.02	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第1四半期	21,368	17,914	83.8	1,706.26
25年3月期	21,518	17,893	83.2	1,704.19

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 17,914百万円 25年3月期 17,893百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	10.00	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	9,400	3.4	300	70.5	380	47.3	200	14.9	19.04
通期	19,000	3.4	650	32.1	800	28.4	410	22.8	39.04

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年3月期1Q	11,440,000 株	25年3月期	11,440,000 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

26年3月期1Q	940,577 株	25年3月期	940,577 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期1Q	10,499,423 株	25年3月期1Q	10,499,543 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8
(5) セグメント情報等 .....	9
4. 補足情報 .....	10
販売の状況 .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、昨年末の新政権による所謂アベノミクスといわれる経済政策への期待感から、円高の修正とともに株価の復調もあって景気回復への道筋が見えてまいりました。

当警備業界におきましては、同業他社との受注競争や警備品質向上による差別化実現に係るコストアップ要因等も抱え、引続き厳しい事業環境が続いております。

このような事業環境の中、当社グループは「安心と信頼」のサービス提供で社会の安全と安心に貢献することを経営理念に、警備力の向上と業務の効率化を柱に売上拡大と収益性の向上に全力をあげて取り組んでまいりました。

特に当第1四半期においては、機械警備の主力商品である監視カメラ付「TEC-i」や現金盗難保険を付帯した「TEC-G」の販売を強化してまいりました。その中で、当社は、京都府警察本部、大阪府警察本部との間で当社が事業所等に設置する監視カメラによる不法侵入者等の画像送信に関する申合せ書の調印を行いました。

これは、当社が電話による110番通報と同時に、不法行為等の画像を警察本部へ送信することで、初期の警察活動における捜査の迅速化を図り、お客様の被害を少なくすることが期待できます。この取り組みを契機に、高付加価値商品である「TEC-i」の販売に注力し、売上拡大と収益性の向上を目指してまいりました。

その結果、当第1四半期連結累計期間における当社グループの業績は次のとおり増収、増益となりました。

売上高は、受託管理業務の減収により警備事業全般では伸び悩んだものの、コールセンター業務などの複合業務を絡めたビル管理事業が大きく増収となったことにより、4,620百万円（前年同四半期比133百万円、3.0%の増収）となりました。利益面では、高付加価値商品、サービスの販売に注力し、業務全般にわたる効率化やローコストオペレーションを徹底したことにより、営業利益は、156百万円（前年同四半期比119百万円、321.6%の増益）となりました。経常利益は、220百万円（前年同四半期比117百万円、114.8%の増益）となり、四半期純利益は、120百万円（前年同四半期比5百万円、4.3%の増益）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

## (警備事業)

警備事業につきましては、機械警備、輸送警備、施設警備、工事・機器販売が増収となりましたが、受託管理業務が大きく減収となったことから、売上高は3,460百万円、前年同四半期比61百万円、1.8%の増収に止まりました。損益面では、業務全般にわたる効率化やローコストオペレーションの徹底により、セグメント利益（営業利益）は130百万円となり、前年同四半期比100百万円、335.1%の増益となりました。

## (ビル管理事業)

ビル管理事業につきましては、コールセンター業務を核とし警備事業（機械警備・施設警備）を含めた総合管理業務の受注により、グループ総力を結集したサービス提供に努めた結果、売上高は1,159百万円、前年同四半期比71百万円、6.6%の増収となりました。セグメント利益（営業利益）は20百万円となり、前年同四半期比18百万円、728.5%の増益となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

## (資産)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、21,368百万円となり、前連結会計年度末に比べ150百万円の減少となりました。

流動資産は、11,422百万円となり、前連結会計年度末に比べ236百万円減少しました。

その主な要因は、受託管理業務に係る受託現預金や有価証券の減少等によるものです。

固定資産は、9,945百万円となり、前連結会計年度末に比べ86百万円増加しました。

## (負債)

負債は、3,453百万円となり、前連結会計年度末に比べ171百万円減少しました。

## (純資産)

純資産合計は、17,914百万円となり、前連結会計年度末に比べ21百万円増加しました。

自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ0.6ポイント増の83.8%となりました。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成26年3月期の業績予想につきましては、厳しい市場環境が続いており、法人向けの機械警備等を中心に売上高の伸び悩みもありますが、平成25年5月10日に公表した連結業績予想から修正は行っておりません。

## (連結業績予想)

売上高	19,000百万円	(前期比 3.4%)
営業利益	650百万円	(前期比32.1%)
経常利益	800百万円	(前期比28.4%)
当期純利益	410百万円	(前期比22.8%)

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

## (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

## (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

## (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,817,528	4,846,805
受託現預金	2,544,273	2,436,614
受取手形及び売掛金	1,386,561	1,343,492
有価証券	2,220,072	2,062,996
商品	2,571	1,975
貯蔵品	317,795	316,967
立替金	642	515
繰延税金資産	213,106	139,345
その他	161,874	277,233
貸倒引当金	△4,920	△3,075
流動資産合計	11,659,505	11,422,869
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	543,006	535,584
機械装置及び運搬具（純額）	1,953,669	1,922,793
土地	1,743,954	1,743,954
建設仮勘定	25,482	24,514
その他（純額）	117,781	118,191
有形固定資産合計	4,383,894	4,345,038
無形固定資産		
ソフトウェア	222,084	200,126
のれん	403,291	379,399
その他	68,083	68,083
無形固定資産合計	693,458	647,609
投資その他の資産		
投資有価証券	3,753,821	3,934,199
投資不動産（純額）	606,032	601,041
繰延税金資産	98,982	95,232
その他	332,910	333,122
貸倒引当金	△10,412	△10,972
投資その他の資産合計	4,781,334	4,952,624
固定資産合計	9,858,688	9,945,271
資産合計	21,518,193	21,368,140

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	282,874	230,964
1年内返済予定の長期借入金	32,500	32,500
未払法人税等	152,744	21,365
預り金	155,139	250,071
賞与引当金	378,328	190,495
役員賞与引当金	40,638	7,930
その他	1,249,380	1,424,665
流動負債合計	2,291,606	2,157,992
固定負債		
社債	200,000	200,000
長期借入金	192,370	184,870
繰延税金負債	430,784	414,932
退職給付引当金	285,751	281,676
その他	224,646	213,922
固定負債合計	1,333,552	1,295,401
負債合計	3,625,159	3,453,394
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	4,618,000	4,618,000
資本剰余金	8,310,580	8,310,580
利益剰余金	6,454,681	6,470,486
自己株式	△683,660	△668,240
株主資本合計	18,699,601	18,730,826
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	945,842	936,329
土地再評価差額金	△1,752,409	△1,752,409
その他の包括利益累計額合計	△806,566	△816,080
純資産合計	17,893,034	17,914,746
負債純資産合計	21,518,193	21,368,140

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	4,487,164	4,620,192
売上原価	3,632,727	3,644,834
売上総利益	854,436	975,358
販売費及び一般管理費	817,288	818,747
営業利益	37,147	156,610
営業外収益		
受取利息	2,768	2,736
受取配当金	50,138	48,283
不動産賃貸料	390	9,090
違約金収入	6,625	7,772
その他	9,299	4,685
営業外収益合計	69,221	72,567
営業外費用		
支払利息	1,722	1,017
不動産賃貸費用	—	5,445
保険免責額	507	1,265
その他	1,431	835
営業外費用合計	3,660	8,564
経常利益	102,708	220,613
特別利益		
投資有価証券売却益	40,885	—
特別利益合計	40,885	—
特別損失		
投資有価証券評価損	2,804	—
固定資産除却損	13,162	15,362
特別損失合計	15,967	15,362
税金等調整前四半期純利益	127,627	205,251
法人税、住民税及び事業税	6,158	8,067
法人税等調整額	5,672	76,384
法人税等合計	11,831	84,452
少数株主損益調整前四半期純利益	115,795	120,799
四半期純利益	115,795	120,799



四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	115,795	120,799
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△79,794	△9,513
その他の包括利益合計	△79,794	△9,513
四半期包括利益	36,001	111,286
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	36,001	111,286
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

## (5) セグメント情報等

## 【セグメント情報】

## I 前第1四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	警備事業	ビル管理事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,399,121	1,088,043	4,487,164	—	4,487,164
セグメント間の内部売上高 又は振替高	4,551	79,187	83,739	△83,739	—
計	3,403,673	1,167,230	4,570,904	△83,739	4,487,164
セグメント利益	29,908	2,513	32,421	4,726	37,147

(注) 1 セグメント利益の調整額は、セグメント間の取引消去によるものであります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

「警備事業」セグメントにおいて、平成24年4月1日付でバンガード株が同社の機械警備事業を会社分割し、当社の連結子会社である東洋テック姫路株がその事業を承継しました。

なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第1四半期連結累計期間においては135,433千円であります。

## II 当第1四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	警備事業	ビル管理事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,460,398	1,159,793	4,620,192	—	4,620,192
セグメント間の内部売上高 又は振替高	7,600	122,095	129,696	△129,696	—
計	3,467,999	1,281,889	4,749,888	△129,696	4,620,192
セグメント利益	130,143	20,820	150,964	5,646	156,610

(注) 1 セグメント利益の調整額は、セグメント間の取引消去によるものであります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

## 4. 補足情報

販売の状況

販売実績

当第1四半期連結累計期間における業務別の販売実績は、次のとおりであります。

業務別の名称	販売高(千円)	前年同期比増減(千円)	前年同四半期比(%)
機 械 警 備	1,878,627	2,836	0.2
輸 送 警 備	307,834	5,125	1.7
施 設 警 備	420,618	4,776	1.2
受 託 管 理	429,182	△25,309	△5.6
工事・機器販売	186,725	3,081	1.7
警備事業計	3,222,989	△9,488	△0.3
ビル総合管理事業	1,397,203	142,516	11.4
合 計	4,620,192	133,027	3.0

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。